

第7号 2025年10月20日週発行
大田区 品川区 渋谷区 世田谷区 港区 目黒区のみなさまへ

東京3ブロックニュース

問い合わせ先:コープみらい東京都本部 参加とネットワーク推進部 03-3382-5665 受付時間/9時～17時(土日・祝 休)

誰でも参加できる 地域の集いの場 みらいひろば 11月 「みらい」ひろばは、新しい発見や学び、地域の方との出逢いの場として親しまれています。みなさまのご参加をお待ちしています。 参加は月に1人1回まで 申込は不要です。 開始時間までに直接会場にお越しください。 なお会場の定員を超えた場合は、先着順となります。 参加費無料 商品販売 動議なし 〈みらいひろばに参加される方へのお願い〉 ※活動の様子や風景を撮影し、その写真や動画を広報のために SNS 等に掲載させていただく場合があります。※みらいひろばはお近くの会場にご参加ください。※お預かりした個人情報は、ご連絡が必要な場合に使用します。※当日はゴミ袋、筆記用具、必要な方は飲み物をお持ちください。※みらいひろばはお子さん同伴可です。※喉の痛み、倦怠感などの症状がある場合や、体調に不安がある場合は、ご参加をお控えいただきますようお願いいたします。※内容は変更になる場合があります。※試食の際は、手洗いに協力をお願いします。※企画は今後、不測の事態によって、開催を見送る可能性があります。詳しくは上記記載の参加とネットワーク推進部にお問合せください。※このニュースは当日まで保管ください。		
港区 芝浦 11/7(金) 10:30～11:45 港区立男女平等参画センター(リーブラ) 2階 料理室 芝浦 1-16-1 みなとパーク芝浦内 CO・OPのドライフルーツを使った フルーツティーでお茶会(予定) 	品川区 きゅりあん 11/6(木) 10:30～11:45 大井町きゅりあん 4階 調理講習室 東大井 5-18-1 お試しミールキット(予定) 	目黒区 自由が丘 しばらくの間 休止 いたします 大変申し訳ありません。 ぜひそのほかのお近くのみらいひろばへお越しください。
世田谷区 三茶 11/6(木) 10:30～11:45 太子堂区民センター 2階 第4会議室 太子堂 1-14-20 着物生地で作る パンケース(予定)  ◀作品例	世田谷区 祖師谷 11/7(金) 10:30～11:45 祖師谷地区会館 1階 第2会議室 祖師谷 3-30-30 デザインペーパーで作る クリスマスツリー(予定)  持ち物：ハサミ 作品例は下部写真をご覧ください	大田区 蒲田 11/7(金) 10:30～11:45 大田区立消費者生活センター 2階 第5集会室 蒲田 5-13-26-101 着物生地で作る パンケース(予定)  ◀作品例
渋谷区 代々木の杜 11/18(火) 10:30～11:45 地域交流センター代々木の杜 1階 交流室B 代々木 2-35-1※ トイレットペーパー芯で 飾れるミニ鍋敷(予定) 作品例は右写真をご覧ください ※ 小田急線「南新橋駅」徒歩3分 ／JR・都営地下鉄大江戸線「代々木駅」徒歩5分	ご自宅から近いみらいひろばへのご参加にご協力をお願いいたします ▲港区お茶会イメージ (フルーツティー) ▼世田谷区作品例 (クリスマスツリー)  ▲渋谷区作品例 (飾れる鍋敷)  ★画像はイメージです	

開催報告
9月17日

1・2・3ブロック合同企画 子育てサポーター交流会



ブロックの垣根を越えた「子育てサポーター交流会」をコーププラザ秋葉原にて開催しました。コロナ禍で活動を休止していた時期もありましたが、運用方法を見直し再始動してから1年。改めて子育てサポーターハンドブックを読み合わせて情報共有をしました。また、子育てサポーターとブロック委員の交流を図り、円滑な運営の基礎づくりをしました。

託児中お子さんとの遊びの例として、新聞紙ビリビリ大会を実演しました。2分間で誰が1番長く新聞紙を切れるかよーいどん！途中でちぎれてしまって悲鳴をあげる人、早業でどんどんがーく切っていく人など、とても盛り上がりました。

その後試食品を食べながらの交流では、託児をしていてうれしかったこと、お子さんの泣き止ませ方のコツなど、話題が尽きませんでした。私たちブロック委員の活動は子育てサポーターさんたちをはじめ、様々な人たちに支えられています。いただいたご意見を大切に、これからも活動していきます。



「子育てサポーター」ってなあに？

「子育てサポーター」は、組合員ご自身が参加(登録)して行う有償のボランティア制度です。子育て世代の組合員さんが、コープの催事に参加する機会を増やすことを目的に、地域とともに子育てを支える組合員が行う助け合いの活動です。専門的な保育ではなく、保護者や主催者であるブロック委員と協力して託児を行います。

「子育てサポーター」にご興味のある方はぜひ、1ページ目でご案内しているお近くのみらいひろばへお越しいただき、お気軽にブロック委員にお声がけください。

報告 ヒロシマ平和の旅に参加しました

戦後 80 年の今年、東京 3 ブロックのブロック委員が 8 月 4 日から 6 日の 2 泊 3 日、ヒロシマ平和の旅に役割参加しました。旅の前後の交流会を含めて充実した 5 日間を過ごしました。その報告をいたします。

<事前交流会>

参加者はコープみらい全域からで 30 人。自己紹介をし、旅の目的を確認し合いました。家族や兄弟での参加が多く、和気あいあいとした雰囲気でした。けれどもとても勉強熱心な参加者が多かったです。

<8月4日～6日> ピース・アクション in ヒロシマにてさまざまな企画に参加しました。

【証言】被爆時 2 歳の女性の証言や胎内被爆者の話が印象に残りました。幼すぎて当時の記憶はなく孤児となったその後の辛い経験や、生まれながらの被爆者という苦しみを伺いました。おふたりの話から、今では直後の体験を語れる被爆者はほとんどいないのだと改めて気づかされました。被爆者健康手帳を持つ被爆者の数は、今年 10 万人を切ったそうです。

【碑めぐり】平和記念公園内をボランティアガイドの方と巡りました。原爆がなぜ広島に投下されたのか、原爆ドーム周辺がかつてどのような繁華街だったのか、戦後に平和記念公園を設計した丹下健三氏の意図などを聞くことができました。

【学習会】「黒い雨」訴訟の取材等を続けるジャーナリストの講演会に参加しました。被爆者として認定されていない方たちの訴訟について学びました。被爆者なのに症状が軽かったため遠慮したり、差別にあうことを懸念して言い出せなかった苦しみを知りました。また、カザフスタンでは旧ソ連によって核実験が多く繰り返され、放射線被害に苦しむ人が多いことを、来日中の被害者救済活動家から伺いました。

【交流】「ヒロシマ虹のひろば」にて全国の生協の方々や広島の学生さんと交流を持つことができました。

【式典参加】「広島市原爆死没者慰霊式並びに平和記念式」に参加しました。毎年テレビで見る式典に実際に参加し、感慨深かったです。セキュリティチェックが非常に厳しく、全国から警察官も動員され、物々しい雰囲気でした。多くの方が携わり、大切にしている式典なのだと実感しました。その場でなければわからない喧噪、蟬時雨、外国人観光客の多さなどを、実際に見て、聞いて、肌で感じることができました。

<体験報告交流会>

旅から 3 週間ほど経ってからの再会で、話の輪が広がりました。どの方も、広島で学んだことをどのように伝えていくか日々考えているという話がとても印象に残りました。

とても中身の濃い平和の旅でした。平和の旅は毎年行われています。みなさんもぜひご参加ください。

コープみらいでは、二度と戦争を起こさない社会作りに向けて、核兵器や戦争の悲惨な事実を「知り、学び、伝える」ことを大切に、「平和の旅」を実施しています。平和の旅に参加する一般の組合員の費用補助に「平和の旅募金」を活用させていただいています。



◎品川区在住の親子も参加しました

参加者のなかに品川区在住の方もいました。大学生と中学生のお嬢さんとお母さんの S さん親子です。学習会では熱心に質問をしたり、「ヒロシマ虹のひろば」では飛び入り参加で歌を披露したり。とても素敵なお家族でした。帰京後のヒロシマ平和の旅体験報告交流会で発表した感想をまとめました。

<お母さま>

広島には毎年 1000～1300 万羽の千羽鶴が届けられるそうです。それらを利用した卒業証書やノートなどを作成・販売する「平和の祈り 折り鶴昇華再生事業」が 2014 年 9 月から広島県生協連、生協ひろしま、コープ CS ネットによってスタートしたことは、とてもよいことだと思いました。2 日目の午後に参加した「ヒロシマ虹のひろば」のブースにノート、ハンカチが売っていたので購入しました。

平和記念式典の参列はとても良かったです。二度と戦争を起こさないためにも、毎年続けてほしいと切に願います。

<大学生のお嬢さん>

まだ若い学生のうちにヒロシマで学べたのは、とても貴重な経験でした。学んだからには自分の平和を実現させるという使命を果たさなければならないと思いました。絶対に私が生きている間にこの世から核をなくしたい。悲惨の 2 文字をなくしたい。自分ひとりではまだなにができるかわからないけれど、被爆者の方々、今なお苦しむ中東やウクライナの方々の思いを胸に私にできることに挑戦していきます。

<中学生のお嬢さん>

被爆者の方の証言を聞いて、今まで本やインターネットなどで見たことよりもっと苦しくて、すさまじいものだと感じました。今まで私がイメージする被爆した辛さというのは、傷や病気などの身体的なものだと思っていました。しかし実際は身体的なものに限らず、その後の日々での差別や偏見、届かない声なんだと思い知らされました。被爆された方々は過去を引きずり辛い気持ちばかりになるのではなく、今後二度とこのような悲劇が起こらないように限りある命を極限まで使っています。未来への希望を思い描く彼らにすごく感銘を受けました。

改めて原爆を落としてはいけない意味、落としたらどうなるのか、被爆者の苦しみを身をもって感じられた 3 日間でした。ひとりでも多くの人に平和の旅に参加してもらい、明日を生きる糧にしてほしいと思います。



ヒロシマ平和の旅 行程	
1日目(8月4日)	
8:48	東京駅出発
12:43	広島駅到着
15:45	被爆の証言
17:30	碑めぐり 献鶴 自由行動
2日目(8月5日)	
10:00	学習講演会
13:00	ヒロシマ虹のひろば (虹のステージ/みんなのひろば) 自由行動
3日目(8月6日)	
8:00	平和記念式典 (広島市原爆死没者慰霊式 並びに平和記念式)
9:30	施設見学(フリー)
11:30	自由行動
13:03	広島駅出発
16:57	東京駅到着